

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、25～28℃台を示し、低め～甚だ低めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——月夜間と台風で出漁日数が少なかった。西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり0.3トンの水揚げ（前年を下回った）。五島奈留地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり8トンの水揚げ（前年を上回った）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の63%（前年を下回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり4kgの水揚げで、前週の40%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり68kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり151kgの水揚げで、前週の45%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.3トンの水揚げで、前週を上回った（前年並み）。
- 定置網——五島有川地区では、メイチダイなどが1日1統当たり20kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり97kgの水揚げ。対馬東岸地区では、カマスなどが1日1統当たり156kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ハガツオが1日当たり96kgの水揚げ。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（8/19～8/24の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、引き続き大和堆付近で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島沖～新潟沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）5日延31隻、総計2,546箱、1航海最高375箱、平均82.1箱。スルメイカ（20～40入）2,427箱、ケンサキイカ（2～3立半）119箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>